

令和5年度第3回大分県ツーリズム戦略推進会議 委員意見

日時：令和6年3月25日(月) 15:00～17:00

場所：大分県庁新館13階133会議室

項目	No.	発言の要旨
協議事項（1）令和5年度大分県ツーリズム戦略推進会議事業実績（見込）及び（2）県内宿泊者数の動向について	1	・観光案内所連絡会でそれぞれの地域がPRするのはよいが、観光地へのアクセスを他の地域の観光案内所は案内できるようにするなど周遊に繋げ、互いの交通アクセスを学ぶ勉強会ができればよいのではないかと
	2	・他施設の乳がん患者やタトゥー受入、バリアフリーの温泉などの情報を把握するのは難しいので、情報共有をしてほしい
	3	・観光客の人数は戻ったとしても、コロナで3年間ブランクがあり、観光の中身が変わらないはずがない ・ポストコロナで何が違って何が変わらなかったのかを研究して、これからの観光を考えなければならない。
	4	・旅行会社を使わない旅行者が増えているので、そこにどうやって情報を渡すか ・民間ができること、観光協会ができることを整理したほうが次の戦略策定に役立つのではないかと ・人数で判断するのではなく、お客さんの満足度を高めることが大事なので一度交通整理が必要
	5	・滞在型のニーズが増えていくので、いかに大分に滞在してもらえるかを今後の戦略に入れてほしい
協議事項（3）令和6年度当初予算(案)及び令和5年度2月補正予算	6	・DC期間中に実施する「ぐるっと大分バスの旅」を県内外の人に使ってほしい ・人手不足や減便などはあるが、DC期間が終わっても続けてもらいたい
	7	・3月に熊本の旅行会社を招待した ・TSMCの関係で熊本ナンバーの台湾のお客さんが来たりしている ・熊本の旅行会社とバスツアーをするなど双方向で行き来があるとよい
	8	・今は個人のお客さん向けのものが多いが、団体向けの戦略を作ったほうがよい ・個人と団体を分けした戦略を作る必要がある

令和5年度第3回大分県ツーリズム戦略推進会議 委員意見

日時：令和6年3月25日(月) 15:00～17:00
場所：大分県庁新館13階133会議室

項目	No.	発言の要旨
協議事項（４）次期 ツーリズム戦略	9	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性は振興局が詳しいし、県庁の本課ではできないけど振興局はできることがあるだろうから、意見交換会開催前に考えたほうがよい ・振興局がやっていることを把握する必要がある
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁内でも土木、農林水産など今まで以上に横の連携が必要
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ローカルの価値をどう生み出していくか、自治体ごとの尖った個性をいかに県が集約するかが大切 ・人が多すぎて旅の質が下がっていないか危惧している ・どの時期にどのような人を呼ぶか、国内外ごとに年間スケジュールを作ってはどうか ・昔は大人が旅先を決めていたが、今は子どもファーストなので、子ども連れに寄り添ったコンサルができる県だと、その層に愛着を持ってもらえるのでは
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国のお客さんが戻っているので、韓国の今のマーケットのリサーチから始めたほうがよい ・韓国人客ばかりの宿や国内客ばかりの宿があるので、それぞれにヒアリングをしたらよいのでは ・アフターDCとしてJR西日本との連携を続けてほしい ・ロングトレイルやオルレなどは今後お客さんが求めているものなので、県には各地の取り組みをまとめて引っ張ってもらいたい
	13	<ul style="list-style-type: none"> ・先日、DC関連で東京・大阪からメディアが来たが、前回DCと何も変わっていないと言われた ・それぞれの地域がテーマを持ちキャッチフレーズを作れば、お客さんにも紹介しやすい
	14	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前よりも連泊するお客さんが増えたので、もっと県内を周遊してほしいが、そのようなお客さんに宿が案内をできるかどうかを大事 ・情報発信強化だけではなく受入体制整備にも力を入れてほしい
	15	<ul style="list-style-type: none"> ・外国から見た日本がとても安くなったのでお客さんも増えたが、今後も続くかはわからない ・この20年の大分県の観光はラグビーワールドカップやDCなどイベントをテーマとしているが、大分県独自の観光テーマを決めて取り組まないでレガシーが残らない ・今後は5年後、10年後を見据えたテーマを設定してほしい
	16	<ul style="list-style-type: none"> ・今は観光や旅行会社の切り口で考えているので、産業や農業の観点からも大分県の魅力を出していけたらいいのではないかと
	17	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県の観光コンテンツの棚卸をしたほうがよい ・他部局にも声をかけ、全庁で戦略を作してほしい
	18	<ul style="list-style-type: none"> ・物産の商談会でも観光の話になるので、物産と観光が連携してオール大分で売り込んだらよいのでは
	19	<ul style="list-style-type: none"> ・すそ野の広い総合産業が観光で、大分県の強みは総合力だと考えている ・なりわいをしている人と観光の接点を作ることが大事 ・ツーリズム大学など各地域発で人を挙げてほしい
20	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の個性をいかに適切に発信するか ・来年のツーリズム戦略推進会議で1回は「大分の魅力が何か」考える回があってもよいのでは 	
21	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設は人材不足で稼働を抑えながら対応しているが、従業員が疲弊するぐらいお客さんが多いので、離れていた若者が戻って来るようご支援いただきたい 	